

平成30年度  
印教研国語研究部定期総会

平成30年5月8日(火)  
会場：成田市立成田中学校

- 1 開会の言葉
- 2 研究部長挨拶
- 3 議長選出, 書記任命(4部会)  
議長：  
書記：
- 4 報 告
  - (1) 平成29年度事業報告
    - ・研修専門部
    - ・ひざし専門部
    - ・広報専門部
  - (2) 平成29年度決算報告
- 5 議 事
  - (1) 平成29年度事業報告及び決算承認について
  - (2) 平成30年度事業計画及び予算の提案並びに承認について
    - ・研修専門部
    - ・ひざし専門部
    - ・広報専門部
    - ・予 算
  - (3) 平成30年度の研究部役員選出について
  - (4) 平成30年度印教研分散会組織について
- 6 長期研修生報告  
佐倉市立根郷小学校 荒木 達也 先生
- 7 連絡事項
  - (1) 千葉県教育研究会より
  - (2) その他
- 8 新旧役員挨拶
- 9 閉会の言葉
- \* 事務連絡(研究部事務局)

\*全体会終了後、教研推進会議を行います。  
次の先生方は、承認後、必ずご参加ください。  
●「話す・聞く」「書く」「読む」各分散会責任者  
●研修専門部役員  
●1～5部会研究部長  
よろしく願いいたします。  
場所：成田中学校1階 会議室

# 平成29年度事業報告

## ●研修専門部

### 1 研究主題

思いや考えを豊かに伝え合い、思考力・判断力・表現力を育てる国語科学習の創造

分散会(1) 生き生きと学び、「話す・聞く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(2) 生き生きと学び、「書く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(3) 生き生きと学び、「読む」力を高める国語科学習のあり方

### 2 平成29年度活動概要

5月 9日(火) 研究部総会

6月 中旬 各部会教研研修会

～下旬 ひざしプロジェクト検証授業

6月21日(水) 教研推進委員会(提案検討会)

8月 8日(火) 教研全体集会担当者・係打合せ会議

8月23日(水) 教研全体集会

10月18日(水) 教研推進委員会(教研全体集会反省)

2月 9日(金) 教研推進委員会(本年度の反省と次年度の課題)

### 3 平成29年度教育研究全体集会について

(1) 期日及び会場 平成27年8月24日(火) 9:30～16:30(受付9:00)

①「話す・聞く」分散会 松山下運動公園 多目的室 約70人

②「書く」分散会 松山下運動公園 サブアリーナ 約90人

③「読む」分散会 印旛公民館 大会議室 約180人

### (2) 印教研全体集会の提案内容

分散会	研究主題	提案者	助言者・責任者
話す・聞く 松山下運動公園	主体的に学び、自分の考えを豊かに表現できる児童の育成	佐倉市立根郷小学校 (1部会)	【助言者】 北総教育事務所香取分室 指導主事 海賢 和宏 様 印西市教育センター 指導主事 飯野 晋二 様 【責任者】 白井市立桜台小学校 教頭 伊藤 忠昭
	主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成 ～伝え合う喜びを大切に 言語活動を通して～	富里市立根木名小学校 (2部会) 教諭 小林 基樹 教諭 片井 綾	
書く 松山下運動公園	自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成 ～文集ひざしを活用した 授業実践を通して～	ひざしプロジェクト チーム小学校	【助言者】 北総教育事務所 主席指導主事 高橋 紀子 様 成田市立成田小学校 教諭 白石 厚子 様 【責任者】 佐倉市立西志津中学校 教頭 猪熊 浩文
	ものの見方・考え方を深め、表現の力を高める作文指導のあり方 ～印旛の文集ひざしを活用して～	ひざしプロジェクト チーム中学校	

読む 印旛 公民館	目的をもって読み、思いや考えを 表現しようとする児童の育成	四街道市立和良比小学校 (5部会) ※代表 教諭 藍 素子	【助言者】 成田市教育委員会 学務課長 高梨 哲生 様 成田市立新山小学校 校長 半田 康 様
	文章のものの見方や考え方を 広げる指導	佐倉立南部中学校 (1部会)	【責任者】 栄町立安食台小学校 教頭 飯野 浩二

## ●ひざし専門部

### 1 「ひざし第70号」編集会議について

- 4月 下旬 専門部会議（「ひざし」70号編集委員委嘱等準備）
- 5月 中旬 募集要項・編集委員委嘱依頼文書等の発送
- 7月 校内選考 一次選考までに各校学年ごとに選考  
下旬 「ひざし」70号一次選考（各部会で国語主任等参加）
- 8月 2日 「ひざし」二次選[場所：本埜公民館]（ひざし編集委員参加）
- 8月18日 「ひざし」三次選[場所：本埜公民館]（ひざし編集委員参加）  
（「努力賞賞状」「購入依頼文書」等発送）
- 9月 中旬 「ひざし」69号「入選・佳作者一覧表」「ちらし」「佳作・入選賞状」等発送
- 10月 初旬 「ひざし」購入申込〆切
- 10月18日 「ひざし」70号校正会議[場所：印旛教育会館]
- 10月 下旬 専門部会議（配本文書・拠点校依頼文書等の発送）
- 11月 初旬 「ひざし」70号拠点校への配本
- 11月 中旬 「ひざし」70号配本完了
- 12月 寄贈本等発送

### 3 注文数の現状

	第68号	第69号	第70号	前年度比
小学校低学年分冊	1, 946	1, 819	1, 882	+ 63
小学校高学年分冊	1, 445	1, 363	1, 462	+ 99
中学校分冊	1, 286	1, 248	1, 268	+ 20
総 計	4, 677	4, 430	4, 612	+182

### 4 成果と改善点等

#### 【成 果】

- (1) 刊行に関して
  - ・小・中学校分冊とも盗作等の誤り無く、無事に刊行することができた。
- (2) 選考に関して
  - ・新メンバーに加わっていただき、長年編集委員として貢献してくださっている方々のリードのもとで順調に作品選考を行うことができた。
- (3) 注文冊数に関して
  - ・昨年度より180冊以上増加した。ご協力に感謝したい。
- (4) 各部会の部長に、ひざし担当になってもらうことができ、連絡等スムーズにできた。この形の継続をお願いしたい。

## 【課題】

### (1) 刊行に関して

- ・小・中学校とも短歌や俳句の応募数が多かった。今後は、季節の集中化の問題などを改善しながら、より充実させていきたい。

### (2) 選考に関して

- ・応募数が多くなり、部門によっては選考作業に時間がかかってしまったところがあるので、平成30年度も編集委員を増やしていきたい。編集委員の異動情報をもとに人選を検討し、委嘱をできるだけ早く適切に行えるよう努力していく。
- ・選考にあたっての注意事項を部会ごとに配布したが、氏名の印漏れ（ゴム印のつぶれ）が目立ち、名簿作成の段階で正しい文字を確認するために電話することがしばしばあった。部会選の段階で、注意事項をチェックリストにして配布するなどし、確認の徹底を図りたい。
- ・原稿用紙の書き方を総会で徹底する。（本要項9ページ参照）

### (3) 応募について

- ・取り組みに対する学校差が大きい。多くの学校に応募していただけるよう、総会で啓発する。

## 【その他】

### (1) 注文冊数の増加に向けて

- ・経費が厳しいため、29年度からは編集委員の先生方への贈呈をなくし、学校やご自身で購入していただくようお願いした。30年度も同様に行う。
- ・各学校での「ひざし」の活用の工夫を促し、「ひざし」に関心をもつ児童・生徒を増やしなが  
ら、個人購入を呼びかけてもらうようにする。
- ・各学校への公費等による購入を依頼する。（早い段階で、分担して行う。）
- ・市町村立図書館などでの購入を依頼する。（早い段階で、分担して行う。）
- ・国語科をはじめとする学習活動や読書活動などでの活用等について広報する。

### (2) ひざし用紙 1冊216円（100枚綴り） 後日、部会ごとに注文を集約。

## ●広報専門部

### 1 研究部報「光原」の発行

事業計画に基づき、年間3号の発行に向けて編集会議を開催しながら、下記のように広報「光原」を発行した。

#### (1) 「光原」143号

\*発行日 平成29年7月14日

\*内 容

- ・「これからの国語教育について思うこと」 国語研究部長 松橋 明子 校長先生
- ・平成29年度国語研究部役員
- ・印教研集会案内（研究テーマ一覧）について
- ・印旛郡市地方教育委員会連絡協議会 国語科研究指定を受けて」 八街市立八街北中学校
- ・「ひざし70号」編集委員一覧

#### (2) 「光原」144号

\*発行日 平成29年12月14日

\*内 容

- ・「中学校国語科の授業改善、待ったなし」 国語研究部副部長 安西 啓雄 校長先生
- ・コラム
- ・印教研集会を振り返って 研修専門部長 小林 すみ子 校長先生ほか各分散会より

- ・「県教研に参加して」 四街道市立和良比小学校 藍 素子先生 高萩 明美先生  
佐倉市立根郷小学校 貝淵 寛枝 先生

ひざしプロジェクト 杉本 あゆみ先生 松井 亮先生

- ・「印教連研究指定を終えて」 八街市立八街北中学校 林 幸史 校長先生
- ・「歴史と伝統の文集ひざし70号の編集を終えて」 ひざし専門部長 佐藤 正子 教頭先生

### (3) 「光原」145号

\*発行日 平成30年3月14日

\*内容

- ・「教材研究に力を注ぎたい」 国語研究部副部長 關 智之 校長先生
- ・コラム
- ・「千国研長生大会小学分科会に参加して」 印西市立本埜第二小学校 陣内 孝浩 校長先生
- ・「千国研長生大会中学分科会に参加して」 印西市立本埜中学校 磯 昌稔 教頭先生
- ・「子どもたちに言語力についてはいますか？」 北総教育事務所指導主事 海寶 和宏 先生
- ・「学力向上交流会」 四街道市立中央小学校 郷田 亮子 先生

## 2 成果と課題

- 巻頭言を始め、各記事の原稿執筆に対して、毎回号大変協力的に原稿をお寄せいただき、期日等にもご配慮いただき心より感謝しています。ありがとうございました。
- 昨年度までの反省から、原稿の依頼から編集、配布までの作業に余裕を持たせ、研究部員に確実に届くよう努めました。
- 編集会議を1号につき2回程度、年に6回広報専門部役員で行い発行しました。部会の編集委員の先生方には、配布を中心にお願ひしました。編集の効率化と幅広いご意見等を伺う機会を今後作っていただければと考えます。
- さらに国語研究部員からの声を反映できるような紙面作りの工夫を継続する必要があります。

## 平成29年度決算報告

※別紙参照

※ 低学年(小1.2.3)と高学年(小4.5.6. 中学)は字詰と行数が違います

— 注意 —

- 1行目に題名, 2行目に校名(小・中は書かない), 3行目に学年(○年)と氏名, 4行目から本文を書く。作文の場合は段落ごとに書き出しを一マスあけるが, 詩の場合は全て一マス目から書く。
- 作品の最終行の次の行に, 「指導○○○○先生」と記入する。
- 、。「」「』」などは一字分使う。ただし、「」は組んで一字とする。
- 一作品ごとに右上○印のところをとじる。

「ひざし」原稿用紙(小学校一・二・三年用)

指導  
○○○○先生

※作品の最後に  
指導者名を書く。

詩はここから上で書く。

詩は一マスあけない。

ホチキスで止める。

市立や小中は書かない。

年  
氏名  
校名

位置の上下は特に指定しない。

文はここまでかく。(二十三字詰)

小学校一・二・三年の詩はここから上へかく。(十四字詰)

すべての枚数に記入する。

ゴム印可。  
落了防止のためです。

1枚目に記入(分類作業のためです。)

1枚目に氏名ゴム印を押す。(氏名確認のためです。)

氏名ゴム印欄

校名
部会番号

氏名ゴム印欄

※ 低学年（小1.2.3）と高学年（小4.5.6.中学）は字詰と行数が違います

注意

- 1行目に題名，2行目に校名（小・中は書かない），3行目に学年（○年）と氏名，4行目から本文を書く。作文の場合は段落ごとに書き出しをマスあけるが，詩の場合は全てマス目から書く。
- 作品の最終行の次の行に，「指導○○○○先生」と記入する。
- 、「」『』などは一字分使う。ただし「」は組んで一字とする。
- 一作品ごとに右上○印のところをどじる。

「ひざし」原稿用紙（小）校四・五・六年・中学校用

小学校四年以上の詩はここから上へかく。（十六字詰）

文は下までかいてよい。（二十六字詰）

（指導○○○○先生）

※作品の最後に指導者名を書く。

すべらの枚数に記入する。

（ゴム印可。落し防止のためです。）

校名

部会番号

ホチキスで止める。

↑詩はマスあけない。

○題名○

○立や小中は書かない。

○校名○

○年○氏名○○○

詩はここから上で書く。

位置の上下は特に指定しない

1枚目に記入（分類作業のためです。）

1枚目に氏名ゴム印を押す。（氏名確認のためです。）

# 平成30年度事業計画 (案)

## ●研修専門部

### 1 研究主題

#### 主体的・対話的で深い学びを育む国語科学習の創造

分散会 (1) 生き生きと学び, 「話す・聞く」力を高める国語科学習のあり方

分散会 (2) 生き生きと学び, 「書く」力を高める国語科学習のあり方

分散会 (3) 生き生きと学び, 「読む」力を高める国語科学習のあり方

### 2 平成30年度活動概要

5月 8日 (火) : 研究部総会

6月中・下旬 : 各部会教研研修会 (提案検討会)

6月20日 (水) : 教研推進委員会 (教研集会の持ち方, 役割分担等)

8月 7日 (火) : 教研全体集会担当者・教研実務会議

8月28日 (火) : 教研全体集会 (松山下運動公園, 印旛公民館)

10月~11月 : 各部会教研研修会

10月16日 (火) : 教研推進委員会 (教研全体集会反省)

2月 8日 (金) : 教研推進委員会 (本年度の反省と次年度の課題)

### 3 平成30年度教研全体集会 (研究テーマは仮題)

分散会	研究主題	提案者	助言者・責任者
話す・聞く 松山下運動公園	語彙を増やし, 自分の思いを効果的に伝え合う授業の工夫	印西市立原山中学校 (3部会)	【助言者】 北総教育事務所 指導主事 三星 典子 様 印西市教育委員会指導課 指導主事 飯野 晋二 様
	伝え合う力を高める指導の工夫 ~相手意識をもった話し合い活動を通して~	八街市立川上小学校 (4部会)	【責任者】 白井市立立桜台小学校 教頭 伊藤 忠昭
書く 松山下運動公園	自分の思いや考えを進んで伝え合い, 深めることができる児童の育成 ~書く活動を通して~	四街道市立旭小学校 (5部会)	【助言者】 北総教育事務所 指導主事 海寶 和宏 様 成田市立成田小学校 教諭 白石 厚子 様
	書き方を知り, 書くことの楽しさを 感じられる子どもの育成 ~構成力を高める指導の実践~	成田市立桜田小学校 (2部会) 教諭 宮本 和也 堀越 和子	【責任者】 佐倉市立西志津中学校 教頭 猪熊 浩文
読む 印旛公民館	主体的に読む力を育てる国語科教育 ~言語活動の充実を通して~	佐倉市立志津小学校 (1部会)	【助言者】 白井市教育委員会 学校政策課主幹 大高 一穂 様 佐倉市教育委員会指導課 指導主事 若林 富美子 様
	活用する力を育てる国語科学習指導	栄町立安食台小学校 (2部会) 教諭 篠田 高之	【責任者】 佐倉市立佐倉小学校 教頭 松丸 晴久



#### 4 日 程

- (1) 午前 : 提案・討議 2 本
- (2) 午後 : 助言者指導, 講演会

#### 5 各分散会講演者

話す・聞く／書く (松山下運動公園)	東京学芸大学 准教授 中村 和弘 先生
読 む (印旛公民館)	南房総教育事務所指導室長 横田 経一郎 先生

#### ●ひざし専門部

##### 「ひざし」71号発行

- 4月 下旬 専門部会議 (「ひざし」71号編集委員委嘱等準備)
- 6月 中旬 募集要項・編集委員委嘱依頼文書等の発送
- 7月 下旬 「ひざし」71号一次選考 [場所: 各部会会場]
- 8月 1日 「ひざし」二次選 [場所: 本埜公民館]
- 8月 8日 「ひざし」三次選 [場所: 本埜公民館] (「努力賞賞状」「購入依頼文書」等発送)
- 8月 中旬 専門部会議 (購入依頼文書等の準備)
- 9月 中旬 「ひざし」71号「入選・佳作者一覧表」「ちらし」「佳作・入選賞状」等発送
- 10月 初旬 「ひざし」購入申込み切
- 10月16日 「ひざし」71号校正会議 (役員会にて)
- 10月 下旬 専門部会議 (配本文書・拠点校依頼文書等の発送)
- 11月 上旬 「ひざし」71号拠点校への配本
- 11月 中旬 「ひざし」71号配本完了
- 12月 寄贈本等発送

#### ●広報専門部

- 広報誌「光原」を年間3号 (第146号～148号) 発行する。
- 各号に教育研究に関する記事を掲載し, 教研活動に活用してもらえるよう紙面の充実を図る。
  - ・第146号 教研集会各分散会提案校の研究主題及び研究仮説
  - ・第147号 教研集会各分散会報告
  - ・第148号 県教研集会各分科会報告
- 巻頭言については, 各号, 研究部長・副部長に執筆を依頼する。
- 研究指定校の実践を紹介する等, 研究部員が日常の実践に活用できるような記事の掲載に努める。
- 各号の発行に向けて, 編集会議を年間6回程度開催する。
- より読みやすい紙面構成を目指し, A4版を継続し内容の充実を図る。

##### 《「光原」発行予定》

- ・第146号… 7月中旬  
巻頭言 (研究部長), 教研集会に向けて, 「ひざし」編集委員紹介 等
- ・第147号… 12月中旬  
巻頭言 (研究副部長), 教研集会報告, 「ひざし」編集を終えて 等
- ・第148号… 3月上旬  
巻頭言 (研究副部長), 県教研集会報告, 研究指定校の実践報告 等

### 平成30年度研究部予算計画 (案)

※別紙参照

## 平成30年度研究部役員 (案)

研究部顧問	田代 成司 (白井市立池の上小学校校長)
1 研究部長	久門 恵子 (印西市立西の原小学校校長)
2 研究副部長	安西 啓雄 (四街道市立四街道西中学校校長) 野田 幸一 (印西市立滝野中学校校長) 關 智之 (印西市立小林小学校校長) 半田 康 (成田市立新山小学校校長)
3 研究部長委嘱	
(1) 研修専門部長	小林すみ子 (印西市立原小学校校長)
副部長	榊原 正策 (白井市立桜台中学校校長)
副部長	陣内 孝弘 (印西市立本埜第二小学校校長)
副部長	平川 千秋 (富里市立富里北小学校校長)
(2) ひざし専門部長	佐藤 正子 (佐倉市立白銀小学校教頭)
副部長	坂尾 稔 (成田市立平成小学校教頭)
副部長	堀江真由美 (白井市立池の上小学校教頭)
副部長	上島 順子 (印西市立印西中学校教諭)
副部長	熊谷 未来 (白井市立南山小学校教諭)
(3) 広報専門部長	渡邊 秀子 (成田市立八生小学校校長)
副部長	玉川 幸子 (四街道市立山梨小学校校長)
副部長	菊地 文彦 (成田市立中台中学校教諭)
副部長	齊藤 秀樹 (八街市立八街北中学校教諭)
(4) 研究総務部長	磯 昌稔 (印西市立本埜中学校教頭)
事務局長	鈴木 正彦 (佐倉市立上志津小学校教諭)
会計幹事	加藤 誠則 (酒々井町立酒々井小学校教諭)
	大野 香菜 (酒々井町立酒々井小学校教諭)
庶務幹事	小川 英彦 (成田市立西中学校教諭)
	山中 宣史 (佐倉市立染井野小学校教諭)
	松井 亮 (佐倉市立小竹小学校教諭)
	根本 侑江 (印西市立小倉台小学校教諭)
	菅原 千紘 (四街道市立八木原小学校教諭)
4 千葉県教育研究会 (印旛支会幹事)	半田 康 (成田市立新山小学校校長) ※研究副部長との兼任
* 印教研分散会責任者	
◎話す・聞く	伊藤 忠昭 (白井市立桜台小学校教頭)
◎書 く	猪熊 浩文 (佐倉市立西志津中学校教頭)
◎読 む	松丸 晴久 (佐倉市立佐倉小学校教頭)

### 【参考資料 各部会役員一覧】

部会	役割	氏名(学校名)	専門部	担当分散会
1部会	研究部長	松田 由希 (佐倉市立弥富小学校教諭)	研修	読む
	副部長	八谷 京子 (佐倉市立上志津中学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	大塚まり子 (佐倉市立印南小学校教諭)	研修	話す・聞く
	副部長	小林登志子 (佐倉市立内郷小学校教諭)	広報	話す・聞く
2部会	研究部長	畠山 幸子 (成田市立玉造小学校教諭)	研修	読む
	副部長	澤口 光恵 (成田市立久住小学校教諭)	ひざし	読む
	副部長	鞠子 侑汰 (成田市立成田中学校教諭)	研修	話す・聞く
	副部長	齋藤みどり (成田市立前林小学校教諭)	ひざし	話す・聞く
	副部長	金親 奈美 (成田市立吾妻中学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	駒野 和輝 (富里市立富里南中学校教諭)	広報	読む
	副部長	岩田 裕之 (栄町立竜角寺台小学校教諭)	広報	読む
3部会	研究部長	清水美也子 (白井市立南山小学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	加瀬 朝 (印西市立木刈中学校教諭)	ひざし	話す・聞く
	副部長	角来 利子 (印西市立小倉台小学校教諭)	広報	読む
	副部長	伊藤久美子 (印西市立原小学校教諭)	研修	話す・聞く
4部会	研究部長	藤江 智美 (八街市立八街中央中学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	遠藤 智美 (八街市立二州小学校教諭)	研修	読む
	副部長	和田絵里香 (八街市立川上小学校教諭)	広報	話す・聞く
5部会	研究部長	宮本 美穂 (四街道市立南小学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	簗 正雄 (四街道市立四街道北中学校教諭)	広報	読む
	副部長	柳谷亜希子 (四街道市立和良比小学校教諭)	研修	書く
	副部長	野田 夏未 (四街道市立吉岡小学校教諭)	研修	話す・聞く

### 《各部会研究部長の先生方へ》

\*部会役員の担当専門部(研修, ひざし, 広報)及び担当分散会(話す・聞く, 書く, 読む)について, この表に訂正事項等があれば, 5月11日(金)までに佐倉市立上志津小学校までご連絡ください。よろしくお願いたします。

佐倉市立上志津小学校(印教研国語研究部事務局長 鈴木 正彦)

TEL 043(489)3829

FAX 043(462)5032

\*担当分散会は, 教研当日に司会, 記録, 受付等の仕事をさせていただく分散会となります。ですから, 場合によってはご自分が登録されている分散会とは異なる分散会を担当していただくこともございますが,ご協力よろしくお願いたします。なお, 各分散会での具体的な仕事内容につきましては, 6月の役員会で決定いたします。

\*各部会からの提案校に関する情報(研究主題, 提案者氏名等)に変更や訂正がある場合は, 速やかに佐倉市立上志津小学校までお知らせください。

## 平成 29 年度 国語研究部会計決算書

(単位:円)

### 1 総額の部

平成29年度予算額	平成29年度決算額	比較	備考
638,000	638,000	0	

### 2 収入の部

費目	29年度予算額	29年度決算額	比較	備考
1 印教研配当予算	638,000	638,000	0	
2 繰越金	0	0	0	
計	638,000	638,000	0	

### 3 支出の部

費目	29年度予算額	29年度決算額	比較	備考	
1 謝金	研修	180,000	193,816	-13,816	講師・会場謝礼、編集委員・講師弁当代・飲み物代、編集委員への配本
	ひざし	160,000	130,443	29,557	
2 旅費	0	0	0		
3 資料代	研修	48,000	68,270	-20,270	教研发表資料代、各 部会資料作成代 光原印刷代
	広報	180,000	154,548	25,452	
4 通信運搬費	ひざし	4,000	0	4,000	ひざし発送代、光原 発送代、郵送代、切手 代、書留郵便代
	研修	0	5,098	-5,098	
	広報	10,000	25,460	-15,460	
	通信	25,000	58,934	-33,934	
5 その他	31,000	1,431	29,569	文書印刷代、封筒代、 ラベルシート代、事務用 品代	
計	638,000	638,000	0		

## 平成 30 年度 国語研究部会計予算(案)

費目	30年度予算額	備考	
1 謝金	研修	180,000	講師・会場謝礼 編集委員・講師弁当代・飲み物代、編集委員への配本
	ひざし	160,000	
2 旅費	0		
3 資料代	研修	68,000	教研发表資料代、各 部会資料作成代 光原印刷代
	広報	160,000	
4 通信運搬費	研修	5,000	光原発送代 郵送代、切手代、書留郵便代
	広報	25,000	
	通信	30,000	
5 その他	10,000	レポート用紙代、文書印刷代、封筒代、ラベルシート代、 事務用品代	
計	638,000		